

令和5年度自己評価及び学校関係者評価書

令和6年2月15日
江別市立野幌小学校

1. 本年度の重点目標

◎力強く 夢に向かう 野小っ子 「かしこく やさしく 元気よく」

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	達成状況の適切さ	改善の方策の適切さ
経営方針の重点	特認校としての特色ある教育課程の編成・実施と学習指導の充実 ■肯定的回答 80%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育課程(原始林学習、栽培活動等)の編成・実施に重点を置き、コロナ後の新しい形での活動を目指して実施する。 ・地域素材や人材の活用を図りながら、魅力ある教育活動を推進する。 	A	A
	愛林班活動の活性化と豊かな心の育成 ■肯定的回答 80%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・愛林少年団活動を実施、継続していくことで、責任感や思いやりの気持ちを育成すると共に、郷土愛や愛校心を高める。 ・異学年の活動を数多く取り入れることで、互いのよさを認め合う気持ちを高める。 	A	A
	確かな学力の確実な定着 ■肯定的回答 80%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査や学力テストの結果から児童一人一人の実態を的確に把握する。 ・本校ならではの少人数指導のよさを活かした個に応じた丁寧な指導を継続する。 ・自ら追求したくなる課題の設定や学びあいの場を設定するなど、主体的な学びを支える学習過程を継続する。 	A	A
	体力向上の取組と保健・安全・食育の指導 ■肯定的回答 80%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの結果や日常の体育科の授業から児童の実態を的確に把握し、それらを基にした体力向上プランを作成し、実施する。 ・養護教諭や栄養教諭による授業を継続的に実施する。 	A	A

	<p>学校における働き方改革の推進 ■肯定的回答 80%</p>	B	<p>・「働き方改革コアチーム」を中心に業務内容の見直しを行う。</p> <p>・ペーパーレス化の取組を継続する。</p> <p>・保護者・地域の皆様への情報発信に心がけ、理解の促進を図る。</p>	B	A
	<p>保護者・地域・他機関との連携と協力 ■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・教育方針や教育活動について、ホームページやマチコミメールを用いて、保護者や地域に積極的に発信する。</p> <p>・学校に対する意見や要望を真摯に受け止め、教育活動の工夫・改善を進める。</p>	A	A
教育課程 ・学習指導	<p>地域素材・人材の活用、原始林の活用等、学ぶ楽しさを味わうことのできる教育活動の推進 ■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・地域とのつながりを深め、地域素材や人材を積極的に発掘する。</p> <p>・体験活動を通して学ぶ喜びや楽しさを味わうことができる教育課程を編成する。</p>	A	A
	<p>習得・活用・探求の場を設定し、合同授業や交換授業など指導体制の工夫・改善を図る ■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・学習サポート教員、特別支援教育支援員等の配置により、個々の学びの質を高める。</p> <p>・学年ブロックごとの合同授業の実施等を通して互いに高め合う教育活動を推進する。</p> <p>・専科教員の配置により、専門性を発揮することで、学ぶことに対する児童の興味関心を高める。</p>	A	A
	<p>野小アプローチの確立、家庭学習の定着等により、学習習慣の確立を図る ■肯定的回答 80%</p>	B	<p>・国語科で確立した「野小アプローチ」をもとに、児童自らが学習の主体となる授業を実践する。</p> <p>・家庭学習の手引きを配布し、保護者の協力も得ながら学習習慣の確立を図る。</p> <p>・ICTを効果的に活用する。</p>	B	B
生徒指導	<p>異学年の集団活動や縦割り班（愛林班）活動を通して好ましい人間関係を構築させる ■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・愛林班活動や各種全校活動（ブロック活動）を通して責任感や協調性、思いやりの心の醸成を図る。</p>	A	A

	<p>日頃よりいじめの実態把握に努め、組織的に迅速に対応する体制をより強固にする</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・月1回「生活アンケート」を実施し、いじめや不登校の未然防止に努める。</p> <p>・問題行動等があった場合は、即座にケース会議を開き、全職員で共通理解を図りながら迅速に組織的に対応する。</p>	A	A
教職員・保護者・地域の連携	<p>教職員全員が児童全員を指導する体制を構築し、こころのふれあいを大切にする</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・教職員全員が指導を共有する。</p> <p>・子どもたちが安心安全に居場所のある学校生活を送ることができるよう、保護者と連携を図りながら指導を進める。</p>	A	A
	<p>学校・家庭・地域が連携・協力して共に子どもたちを育てるという考え方を共有して日常の教育活動を推進する</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・学校便りや学年通信、HP、メール等により情報を発信する。</p> <p>・保護者や地域の方と顔を合わせて話す機会を設け、双方向のよりよい関係づくりに努める。</p>	A	A
	<p>PTA活動・育成会等の地域の活動に進んで協力し、協調関係を深める</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・PTA役員を中心とした会員との連携を強化し、互いに協力しながら、子どもたちの健やかな成長をめざす。</p>	A	A
体力づくり	<p>体育の授業や全校的な外遊び、野小タイムなどの体力の向上と健全な心身の育成を図る</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・体育の授業の中で、継続的に体力づくりの取組を行う。</p> <p>・野小外遊びの奨励や野小タイム、野小ランの実施、外部講師を活用した走り方教室などを健全な心身の育成を図る。</p>	A	A
小中一貫教育	<p>めざす子ども像を明確にし、9年間の系統性を明らかにした学習・生活規律の確立を図る。</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・各教科の特性をふまえ、各校の学年ごとの実態を共有し、児童の指導に生かす。</p> <p>・中学3年生の生徒の課題となる単元や領域を共有し、児童の指導に生かす。</p>	A	A
	<p>児童生徒の課題を共有して教育課程の接続を図る。</p> <p>■肯定的回答 80%</p>	A	<p>・学習規律・家庭学習、生活規律等の重点的に取り組む事項(スタンダード)を明確にし、児童の指導に生かす。</p> <p>・「挨拶の音が響く野幌地区」を目指し、継続して指導や取組を行う。</p>	A	A

【評価項目の設定、達成状況および改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・家庭学習の改善の取り組みについて、中学校へ行っても継続できるように、自分のやり方で進めていけるように指導をしていただきたい。
- ・コロナで過去の流れがわからない中、やり直しの苦勞もあったと思うが、よくやっていたと思う。
- ・全て A でもよいのではないかと思うが、学校が B と判断した項目について、次年度はしっかりと取り組んでほしい。
- ・コロナ以後、地域との接点が減ってしまったので、職員の評価も低くなっているところがあると思う。今後、それが回復していけば、職員の評価もよくなるのではないかと思う。

【評価】A:よい B:おおむねよい C:ややよくない D:よくない